

高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

5月2日 (月)

中学部体育の授業で、今年も剣道が始まりました。日本でも多くの学校で剣道か柔道を選択しています。陳先生です。名刺をいただきました。8段という日本でも私はお会いしたことがない、段位の先生です。(私は、4年生の社会科の授業があり、剣道の授業は直接拝見できませんでした)

また、機会があって、昭和3年生まれ日本語世代の方で零戦の操縦士の方とお会いしました。2時間、様々なこととお聞きしました。大変奥が深く、228事件についてもお話をしていただけるということなので、また機会をつくってもらうことにしました。社会科の歴史の授業にお招きできるといいかな、と思って話をお聞きしました。

5月3日 (火)

つい、日本の学校に電話をかけてしまいました。呼び出し音がなっただけです。午後、国賓ホテルで日本語スピーチコンテストがありました。台湾の大学生が一所懸命話をしてくれました。大変よく練習しているので差がでません。そこで、配点が工夫されていて質疑の様子をみます。日本語がもう少しの人は「もう一度言ってください」の連発でした。(高口の中国語は、「もう一度言ってください」の言葉も知りません。恥ずかしいことに、「日本人です」と中国語で言ってすまなさそうにしています。今のところ複雑な場面はないので、シチュエーションでだいたいわかります。昨日もマンションの方に通訳をしてもらいました。はやく自立したい。)

5月4日 (水)

1時間目に小学部1年生歓迎集會が開催されました。計画委員会が楽しい行事にしようと、計画・進行をしてくれました。1年生も楽しそうでした。終わって、もどろうとしたとき、4年生全員で分担でなかった片付けを懸命にしてくれていました。

お昼休み、中庭でドッジボールをやっていました。学年も違い、男女も交じっています。そこに、藤重先生が参入してきました。先生は、早々やられていました。私は、何をしていたかという、網がある安全地帯で楽しくながめていました。(暑いですけど)

5月6日 (金)

5, 6時間目プール清掃です。自分たちが使うプールを清掃しました。(この原稿を書いているときは、実際はやっていません)その後、職員作業で赤台と呼ばれている、低学年が使う水深調整用の台を固定します。李さんがあらかじめ泥のようなものを取り上げてくれています。今朝、5年生がなにか長いものをもっていたので、「何？」って聞いたら、「たわしです」と。清掃に使うのでしたね。

本の紹介

親で決まる！キレない子ども デキる子どもの育て方 人気脳トレドクター
が教える良い脳を作るための生活習慣』

保坂 隆 監修 ソフトバンク新書 2010年2月25日発行

p 56 勉強部屋を作るのは逆効果？

(いるとかいらないとかの問題ではない・・・と書いてあって) 集中力というのは前頭葉の活動によって得られるものですから、集中力を鍛えるのは前頭葉を鍛えるのと同じことになります。実は、キレやすい子どもや注意力散漫な子どもには、前頭葉の活動低下が見られることがわかっています。つまり、集中力をつける訓練をすれば、勉強や受験に有効なだけでなく、キレたり注意力散漫なところが減少することにもなるのです。

p 59 周囲も子どもの勉強に協力しよう

小さな兄弟がいる場合には「10分だけ静かにしてあげて」と頼みます。集中は始めるときがもっともむずかしく、集中してしまえば多少の雑音は気にならなくなります。

p 81 ほめるのが先か、文句が先か

①「あなたは勉強ができると評判ですよ」「それに、とてもやさしいという話も聞きましたよ」と、最初から最後までほめ続けた。

②「あなたは勉強がよくできると評判ですよ」「でも、つき合いづらいところがあるとも言われていますね。」と、最初ほめて次にけなした。

③「あなたはつき合いづらいところがあると言われてますよ」「でも、勉強がよくできるという評判です。」と、最初けなして次にほめた。

④「あなたは、つき合いづらいところがあると言われてますよ」「しかも、成績も悪いと思われていますね」と、最初から最後までけなし続けた。

③→①→④→②の結果になったそうです。(けなしてから、ほめるのが効果があるらしいです。具体的には)「こんな問題を間違えるなんて、相変わらず注意力散漫ね。でも、95点は立派だよ」

p 96 早起きは三文の得

子どもの脳のことを考えたら、できるだけ早起きをさせるべきです。その最大の理由は、セロトロンの分泌です。セロトロンには「人づきあいをうまくする物質」という別名があります。

p 33 良いクラスと悪いクラス

①専制型クラス (先生が独断で意志決定を行い、命令を下すクラス)

仕事は早いが攻撃性が高いクラスに変容していったそうです。いじめの発生もおきます。

②民主主義クラス (先生が子どもたちの意見をよく聞いて意志決定をおこなうクラス)

先生も仕事に加わり、すべての子どもを平等に扱う。満足度が大変高い結果。

③放任型クラス (子ども達にすべてをまかせる) 仕事も遅いし、満足度も低い。

親はどちらかという専制型クラスのように怖い先生、厳しい先生を望みがちです。キレない子どもにしたいなら、民主主義型の先生のほうがいいのではないのでしょうか。

(高口) 脳の研究が進んでいます。常識だと思っているのがちがったりしています。参考にしてください。本の貸し出しをしていますので、高口に声をかけてください。